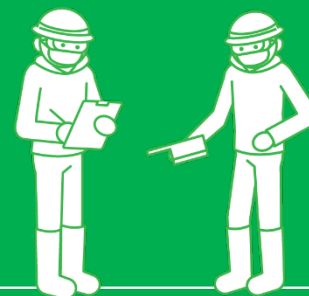
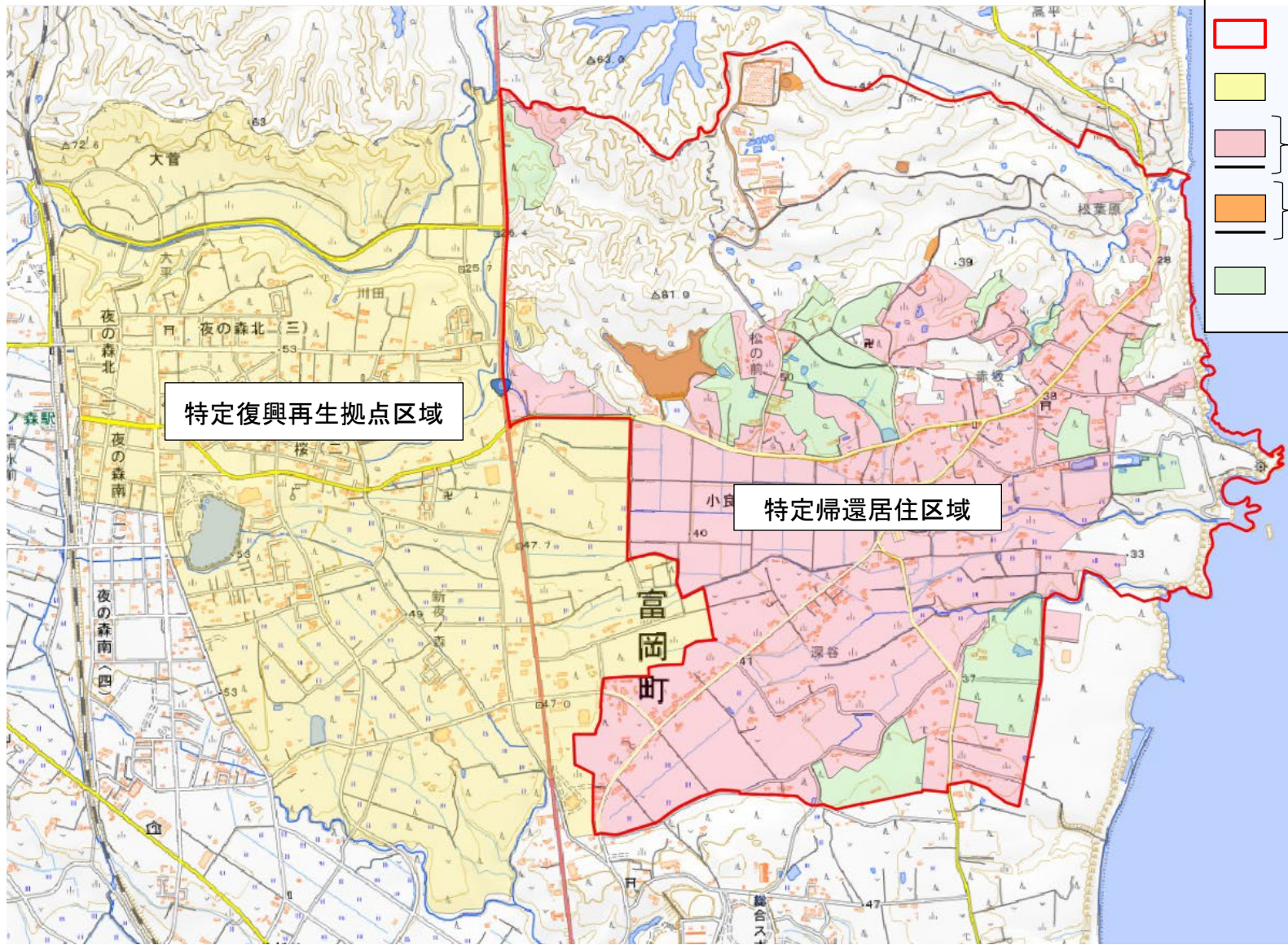


富岡町における除染の進捗状況について

令和8年2月13日 環境省 福島地方環境事務所



特定帰還居住区域、特定復興再生拠点区域等位置図



- 帰還困難区域
- 特定復興再生拠点区域
(H30.3.9計画認定、R5.4.1/R5.11.30解除)
- 特定帰還居住区域
(R6.2.16 計画認定)
- 点・線区域
(R7.9.2 復興再生推進会議 確認)
- 特定帰還居住区域
(R8.2.13 計画認定による追加分)

○解体申請受付

- ・該当者への案内、町広報誌への掲載など、制度をご理解いただけるよう周知を実施。
正式受付 205件（うち計画認定後 81件（区域75件、区域外縁6件））、相談対応中 15件
※令和7年12月31日時点。

○除染同意取得

- ・関係人を把握し、建物の配置や土地の状況等を事前調査。同意書案ができたなら順次、同意を依頼。県道拡幅等、インフラ整備が予定される箇所は優先的に実施。

	対象人数	同意人数	取得率(人数)	対象面積	同意面積	取得率(面積)
特定帰還居住区域	392人	318人	81%	113.2ha	103.0ha	91%
特定帰還居住区域 外縁	101人	47人	47%	43.2ha	39.9ha	92%

※令和7年12月31日時点。区域外縁を含み、仮置場は除く。

○工事発注、進捗

- ・令和7年度富岡町特定帰還居住区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事（その2）を実施中。
発注数量は除染82ha、解体80件（特定復興再生拠点区域分を含む）。

	発注	指示済	実施中	実施率	完了	完了率
除染	82 ha	84.8 ha	20.8 ha	25 %	17.8 ha	21 %
解体	80 件	89 件	10件	11 %	59 件	66 %

※令和7年12月31日時点。区域外縁及び拠点内を含む。

- ・北部の松沼林道は道路延長が長いことに加え、現地確認の結果、道幅が狭い、支障物が多い、アクセスが悪い等の課題が確認されたことから、工期を要する見込み。

○特定帰還居住区域における解体（令和7年12月31日時点）

申請件数	施工中	解体完了	解体完了率
199 件	6 件	159 件	80%

➤ 今後、申請をいただく件についても速やかに受付を行い、解体を加速してまいります。

○特定帰還居住区域における除染（令和7年12月31日時点）

区域面積	除染対象面積	実施中	除染完了	除染完了率
約220ha	113.2 ha	10.8 ha	59.4 ha	52 %

※「除染対象面積」は「区域面積」から仮置場等を除いた面積

※速報値のため、今後の精査により変更することがある

- 令和7年度末までに、特定帰還居住区域のうち約74ha（全体の約7割）の除染完了を目標。
 - ・残る約37ha（全体の約3割）は、令和8年度以降に除染を実施します。
 - ・区域内の線量低減のため、区域の外縁についても並行して除染を実施します。
 - ・除染に先立ち、除染同意の取得も引き続き進めてまいります。
- 除染実施後も、線量が比較的高い箇所やご懸念の声があった箇所については、現地を調査し、線量低減が可能であればフォローアップ除染を実施します。



今後追加される区域においても、可能な限り早期の解体・除染完了を目指します。

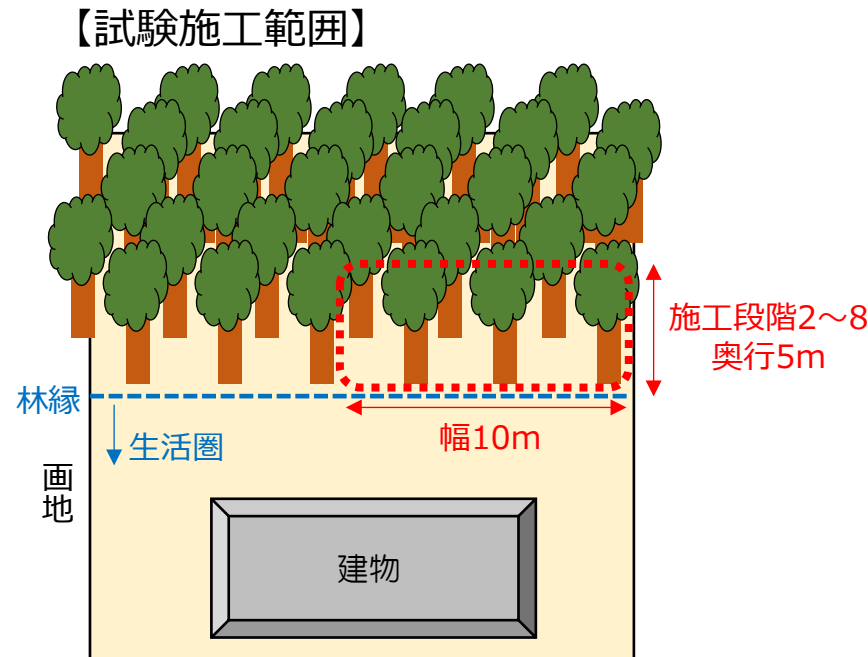
1. 目的

富岡町の特定帰還居住区域内の宅地に隣接する屋敷林（いぐね）において、従来の森林除染の仕様（堆積物、残渣除去）に加え、根元の除染、表土削り取り及び伐採・伐根等の試験施工を行い、線量低減効果、費用対効果、森林機能への影響等を検証する。

2. 施工段階と試験施工範囲



● 定点測定, 指向性モニタリング等



生活圏への影響が考えられる林縁から5m範囲の屋敷林において、試験施工を行う

11月4箇所
の試験区を設定し
から実証試験を開始

➤ 施工段階毎に空間線量率等のモニタリングを行うとともに、歩掛り等を調査して施工性等を評価する

3. 測定項目と試験区画

測定関係

a. 空間線量率測定

- ・測定：施工前、各施工ステップ1～8後(5は除く) [計8回]
- ・位置：林縁（生活圏），森林内

b. 指向性モニタリング測定（※）

- ・測定：施工前、各施工ステップ1～8後(5は除く) [計8回]
- ・位置：林縁（生活圏）
- ※空間線量率に及ぼす影響が大きい方向や対象物を定量的に把握するためのモニタリング

c. 樹木の表面汚染密度測定

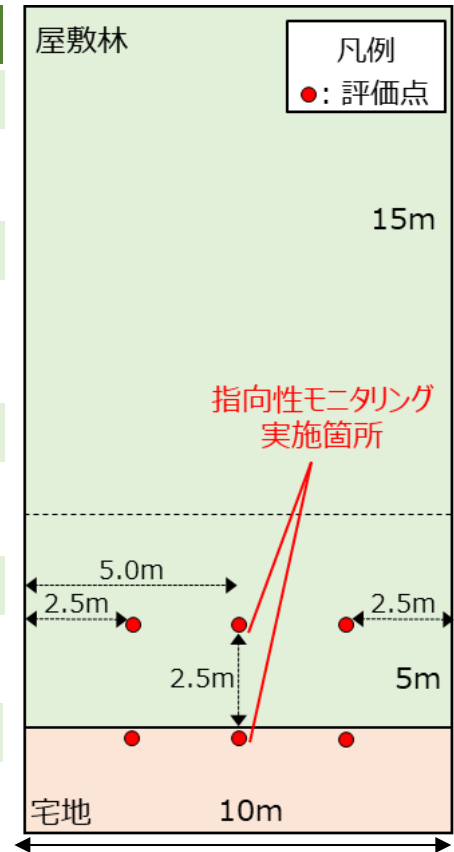
- ・測定：施工前（計1回） ※樹木の種類確認含む
- ・位置：全樹木

d. 樹木根元の1cm線量率測定

- ・測定：施工ステップ1,2後（計2回）
- ・位置：全樹木の根元

e. 樹木の放射能濃度測定（試料採取）

- ・採取：施工ステップ6中（計1回）
- ・位置：3本×3部位（芯材、樹皮、葉）



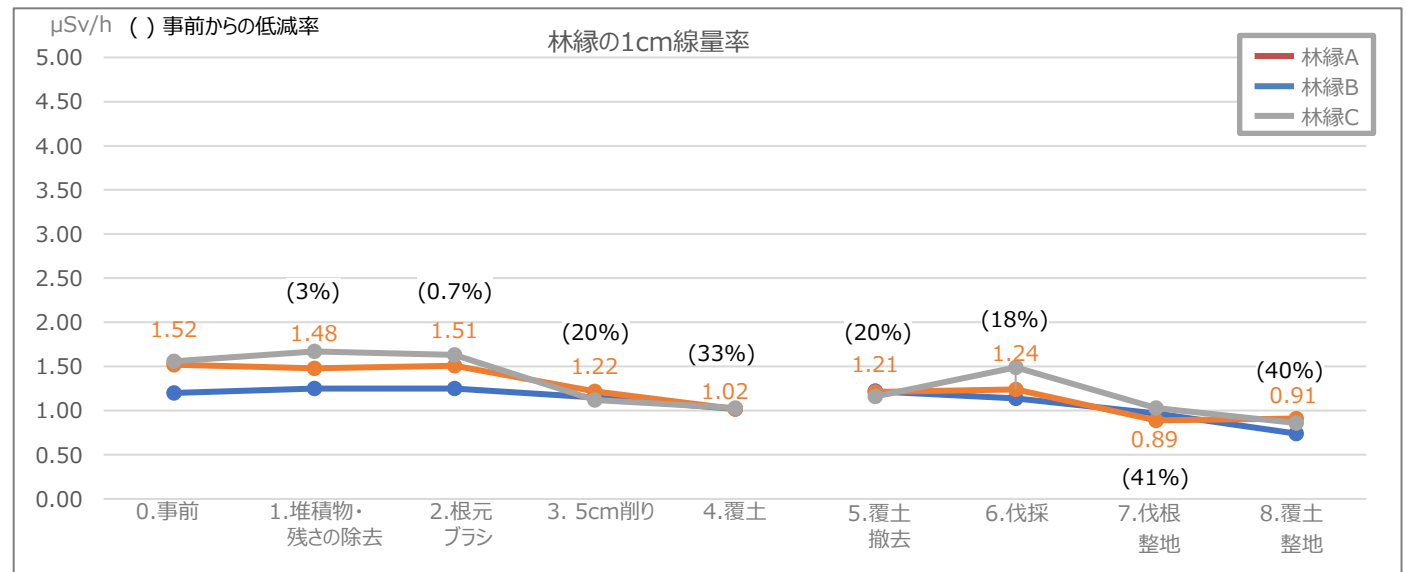
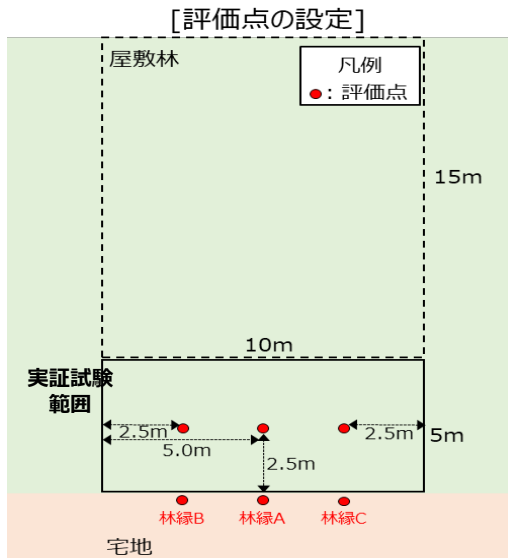
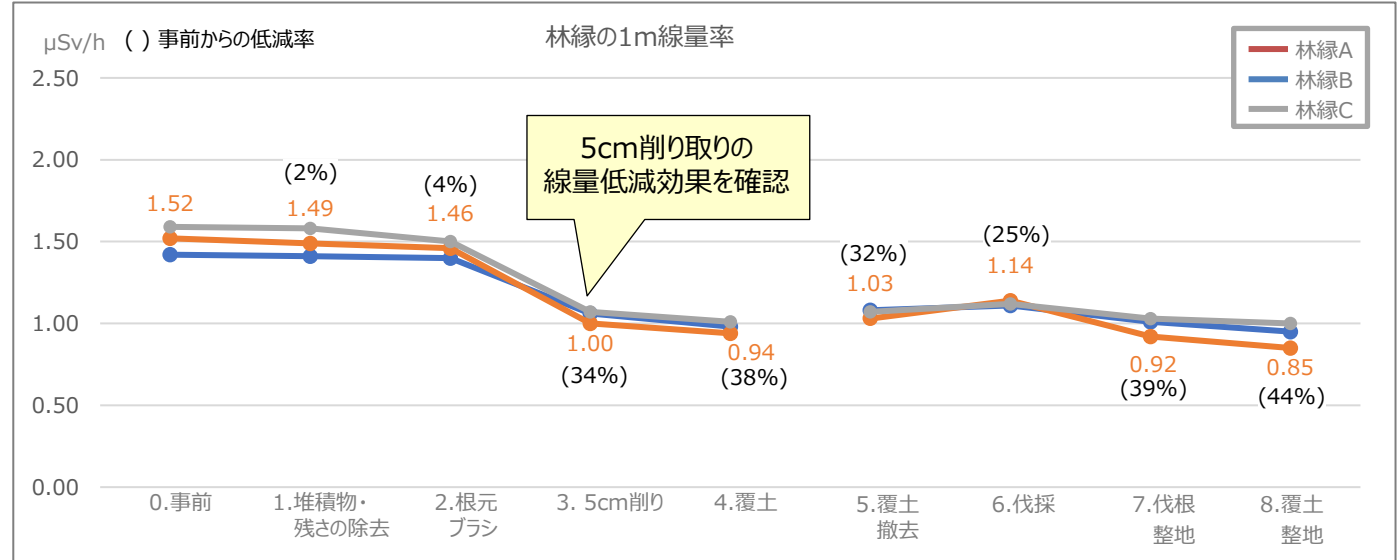
試験地写真



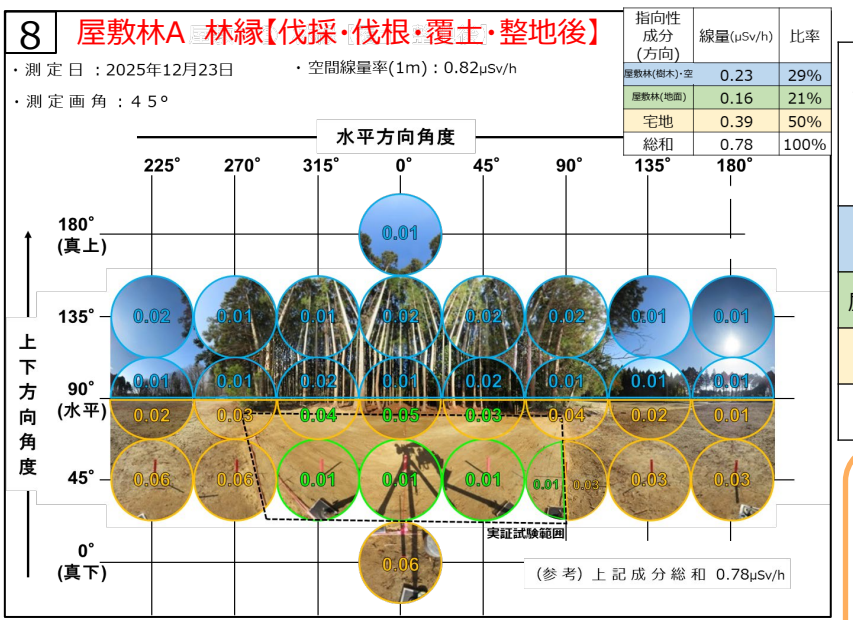
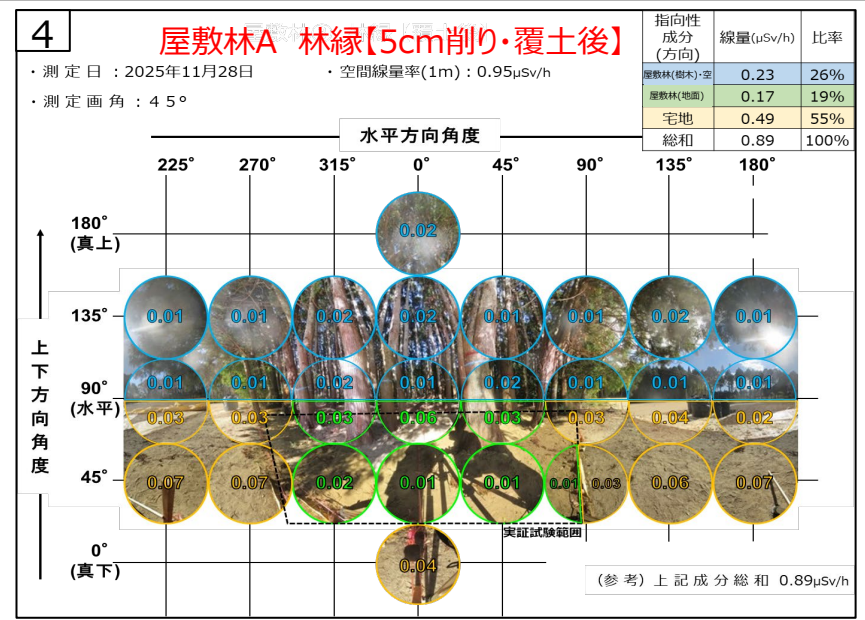
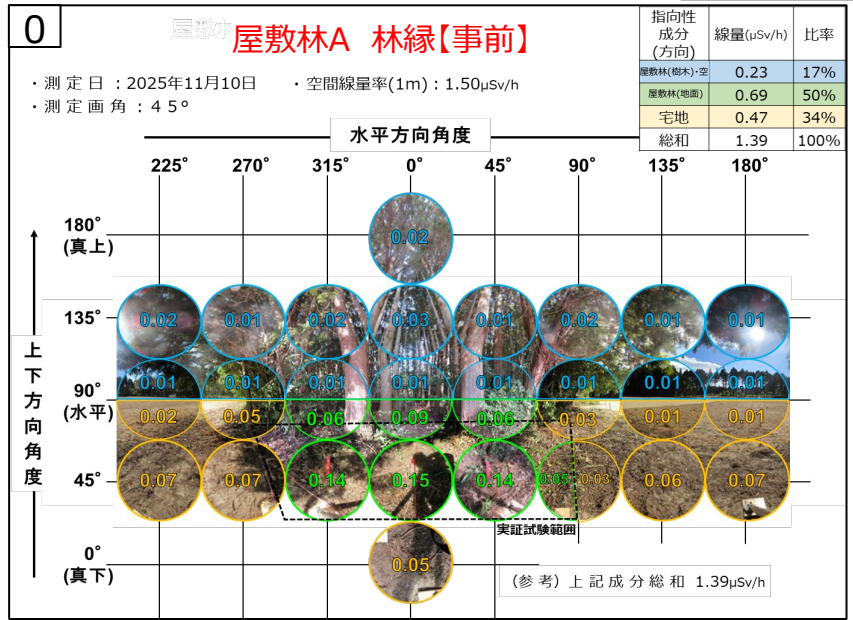
4. 全体行程（予定）

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2つの試験区で施工			データ分析				
		残り2つの試験区で施工			データ分析・結果まとめ		

5.【屋敷林A】 [林縁] 各施工ステップにおける線量推移



○ 屋敷林(樹木)・空方向 ● 屋敷林(地面)方向 ○ 宅地方向 ○ 当該施工による線量低減箇所



【林縁】施工ステップ毎の線量状況

指向性成分(方向)	線量(μ Sv/h)							[事前からの低減率]	
	事前	堆積物・残さ除去 ①	根元 ブラシ ②	5cm 削り ③	覆土 ④	伐採 ⑤	伐根・ 整地 ⑥		覆土・ 整地 ⑦
屋敷林(樹木)・空	0.23	0.22	0.22	0.23	0.23	0.23	0.22	0.23	
屋敷林(地面)	0.69	0.64	0.56	0.32	0.17	0.32	0.25	0.16	[7%] [19%] [54%] [75%] [54%] [64%] [77%]
宅地	0.47	0.51	0.53	0.53	0.49	0.57	0.38	0.39	重機作業による線量変動
総和	1.39	1.37	1.31	1.08	0.89	1.12	0.85	0.78	

・「屋敷林(樹木)・空」及び「宅地」方向の線量は、ほぼ変化なし
 ・「屋敷林(地面)」方向は各施工で線量が低減しており、特に5cm削りと覆土で低減した
 伐採では追加的な線量低減は見られず、伐根・覆土で5cm削り・覆土と同程度の効果となった

[伐採の状況]

伐倒～運搬：3日



- ・樹木は20m程度あり、宅地側に伐倒
- ・宅地側で玉切りを実施

[伐根の状況]

伐根～運搬：4日



- ・隣接した樹木の根と土中で絡み合っており、チェーンソーで切断
- ・樹木の根が深くまで張っているため、最大で2m程度掘削